

JALグループ、2006年度路線便数・機材計画を策定

2006年2月6日

第 05133号

JALグループは、この度、2006年度の路線便数・機材計画を策定しました。

JALグループでは、燃油費高騰など当グループを取り巻く厳しい環境に対応すべく策定した「JALグループ企業改革方針」において、「安定した経営基盤の構築」を掲げ、事業における構造改革を進めておりますが、今般策定した路線便数・機材計画についても、それを踏まえ、より収益性を重視したものとしております。

国際線では、2006年度国際旅客事業の再黒字化の実現に向け、生産資源の集中と選択を図るべく、一部路線の運営を見直します。また、サービス品質向上と経済性の観点から、747型機の退役を加速化し、777や767の中型機への機材更新を促進いたします。さらに、ご好評頂いておりますJALエグゼクティブクラスSEASONSの「JALシェルフラットシート」の導入路線を更に拡大し、お客さまの快適性向上に努めます。

国内線では、747(国内型)、A300およびYS11型機を全機退役させ、737-800型機を新規に導入することにより機材の刷新を図るとともに、小型機への「クラスJ」シート導入など「クラスJ」増席によりお客さまの快適性と利便性の向上を図ります。

貨物事業では、747-400型貨物機2機の増機(旅客機からの改造)により、成田発着路線の大幅な増便や欧州線・太平洋一部路線の直行化など、需要動向の変化に積極的に対応した路線便数計画を策定しております。

路線便数・機材計画の概要は以下の通りです。

【国際旅客便】

1. 主な路線便数計画変更

収益性の観点から、生産資源の集中と選択を図ります。

(増便)

路線	便数変更	増便時期・期間	備考
東京＝シカゴ	週10便→週14便	2006/3/26以降	1日2便運航
東京＝ロサンゼルス	週7便→週8便	2006/4/1～10/28	上期ダイヤ期間、土曜発2便運航
東京＝バンクーバー	週7便→週11便	2006/7/1～8/31	
東京＝モスクワ	週2便→週3便	2006/6/4～9/24	夏季のみの季節増便
東京＝台北	週21便→週28便	2006/3/26以降	8月以降7便、10月以降15便を、747から747-400に機材変更

(運休)

路線	現行機材・便数	運休時期・期間	備考
東京＝ラスベガス－ロサンゼルス＝東京	747-400・週3便	2006/9/30以降	
大阪＝ロサンゼルス	747-400・週7便	2006/10/1以降	「国内旅客便 2. 伊丹・関西・神戸路線」参照
小松＝ソウル	767・週4便	2006/3/26以降	自主運航休止の上、路線運営体制を継続検討
広島＝ソウル	767・週3便	2006/3/24以降	

(減便)

路線	便数変更	減便時期・期間	備考
東京＝ロンドン	週14便→週7便	2006/3/26以降	JL403/404便を減便
東京＝バンコク	週21便→週14便	2006/3/26以降	JO703/704便を減便
大阪＝デンパサール	週3便継続	2006/3/26～10/28	冬期に続き3便運航を継続

2. 777型機投入路線の拡大

777型機の欧州線への投入を拡大します。これにより、2006年度中に、イタリア行きを除く全ての欧州線を777型機による運航とします。

路線	便数	変更時期・期間	投入機材	現行機材	備考
大阪＝ロンドン	週7便	2006/3/26以降	777-200ER	747-400	
東京＝パリ	週10便	2006/6/1～6/30 2006/9/1以降	777-300ER	747-400	週3便は既に777-200ERで運航
東京＝アムステルダム	週7便	2006/10/29以降	777-200ER	747-400	

3. JALシェルフラット導入路線の拡大

JALシェルフラットシートの導入を「東京＝アムステルダム」「大阪＝ロンドン」「東京＝シカゴ(全便)」
「東京＝シンガポール(JL719/710便)」線に拡大し、お客さまの快適性向上に努めます。

4. JALウェイズ担当路線の見直し

「東京＝ジャカルタ」「東京＝ホーチミン」「東京＝ハノイ」「大阪＝ハノイ」「東京＝シドニー」線を新たに担当しコスト競争力を引き続き確保してまいります。

＊；「東京＝ジャカルタ」線は3月26日以降、それ以外の路線は10月1日以降

5. その他

路線	変更点	内容	変更時期・期間
大阪＝台北	機材変更	747型機→747-400への機材変更	2006/10/1以降
東京＝ジャカルタ 東京＝デンパサール	経路変更	両便を合便し、東京＝ジャカルタ＝ デンパサールとする	2006/3/26～6/30

【国内旅客便】

基幹空港の発着枠を含めた現有経営資源を最大限活用し、羽田枠返却終了後のネットワーク再編を実施するとともに、需要の季節変動に柔軟に対応する路線・便数計画を策定しました。

また、「クラスJ」シートの小型機への導入や既装着機材における増席により、当シートの年間提供数を800万席に拡大します。

加えて、ダイヤ設定面においては、悪天候などによるイレギュラー発生時に欠航・遅延便を少なくする工夫を施しております。

また、コスト競争力向上の観点より、JALエクスプレスにMD81をさらに3機移管し、その運航規模を15機に拡大します。

1. 羽田路線

- (1) 富山線については2005年度末をもって廃止します。
- (2) 2005年度に減便した高知・宮崎線などを増便します。
- (3) クラスJ増席改修機材をビジネス需要の多い伊丹・福岡線に重点投入します。
- (4) 全体の需給バランスの観点から、札幌線については減便や小型化を、徳島線については増便を行います。
- (5) 需要の堅調な沖縄線を747型機または747-400型機など大型機で運航します。
- (6) 女満別線・釧路線・帯広線など主に北海道路線については、需要の季節変動に合わせた機材・便数で運航します。

2. 伊丹・関西・神戸路線

伊丹ジェット枠削減に伴うジェット機運航便を減便するとともに、プロペラ機運航便の増便と関西路線の増便を行います。

また、国際線の路線運営見直しに応じ、10月以降、伊丹＝成田線を増便します。

3. 名古屋路線

- (1) 沖縄線、および、札幌線（一部）については747型機または747-400型機など大型機で運航します。
- (2) 仙台線、鹿児島線を増便します。

【国際貨物便】

747-400型貨物機2機を、2006年6月、および、2007年1月より1機ずつ増機（旅客機からの改造）し、成田発着貨物便ネットワークの大幅な増便を図ります。下記増便計画により、全路線合計週51便（2005年度末）を週61便（2006年度末）まで拡大します。

1. 太平洋線

貨物高需要期である9月以降、成田発着便を昨年の週17便から週24便まで増便し（年度末対比）、併せて路線の組み替えを行い、東・西海岸路線ともにバランスの良い供給増を図ることでお客様のニーズに最大限お応えします。また、2006年6月以降、西海岸路線の一部を、アンカレジ経由の運航から順次直行化します。

2. 欧州線

既に一部復路便で実施している直行運航を、6月以降欧州全線に拡大します。

3. アジア線

好調なアジア発着貨物取り込みのため、9月より東京-バンコク-マニラ-東京路線を新設し（週間2便）、バンコク線の供給スペースの更なる拡大、マニラへの貨物便新規乗り入れを実現します。
また、韓国・台湾路線についても増便を図ります。

路線	便数変更	内容	変更時期・期間
東京＝アンカレジ＝ロサンゼルス	週0便→週1便	増便	2006/3/26以降
東京＝アンカレジ＝ニューヨーク	週3便→週4便	増便	2006/6/4以降
東京＝アンカレジ＝シカゴ	週0便→週2便	増便	2006/6/1～8/31
	週2便→週4便		2006/9/1～11/30
	週0便→週4便		2007/1/1～3/26
東京＝ロサンゼルス	週0便→週1便	増便 （747-400による直行運航）	2006/6/5以降
東京＝サンフランシスコ＝ ロサンゼルス	週0便→週2便	アンカレジ経由を747-400 による直行運航に変更	2007/1/1以降
東京＝アンカレジ＝ サンフランシスコ＝ロサンゼルス	週2便→週0便		
東京-バンコク-マニラ-東京	週2便	新規開設	2006/9/1以降
東京＝ソウル	週0便→週1便	増便（現在東京-ソウル-関 西線を週2便運航中）	2006/6/2以降
東京＝台北	週4便→週5便	増便	2006/11/4以降

【機材計画】

2006年度末におけるJALグループの機材数は、2005年度末比4機減の275機となります。

【2006年度機材退役・導入計画】

退役	747 6機	A300-B2/B4 3機	YS11 4機	合計 13機
導入	777-300ER 2機	767-300ER 1機	737-800 3機	合計 9機
	DASH8-400 2機	DASH8-300 1機		

なお、当計画は関係官庁の許認可取得を受けて実施します。

以 上